

機能ポール フレムスModea

施工要領書

このたびは、三協アルミ商品をご採用いただきましてありがとうございます。

商品の施工には、この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。施工の際は必ずお守りください。

- **施工は専門業者様が行ってください。**専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- **電気工事は、電気工事士の資格が必要です。**電気工事が必要な場合、必ず電気工事店様へ依頼ください。

注 同梱されている取り扱い説明書は、必ずお客様へお渡しください。

設置上の注意事項

- 機能ポール以外への転用や改造は行わないでください。
- 荷物の取り出しスペースを十分にとり、通行の妨げとなる場所に設置しないでください。
- 地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないように柱位置を決めてください。
- 給湯、暖房などの燃焼機器の排気ガスまたは車の排気ガスが直接商品に当たったり、滞留しないように設置してください。塗膜の剥がれなどの表面異常が発生するおそれがあります。

施工上の注意事項

- 指定してあるボルトやねじをすべて確実に締めてください。ねじは止める面に対し傾かないよう垂直に取り付けてください。
- 指定の部品やオプション品以外は使用しないでください。
- 基礎は当社指示寸法以上にしてください。
- 基礎はコンクリートを用いて施工してください。
- コンクリートやモルタルの養生期間は十分**(4日~7日)**にとり、養生期間中は重い物をおいたり、振動させたりしないよう、お客様や他の工事業者様にお願いするか、その旨の注意表示をしてください。
- 基礎用のコンクリートやモルタルに海砂を使用しないでください。塩分による腐食の原因となります。また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
- アルミ部材の表面に付着したコンクリートやモルタルなどの汚れは速やかに取り除いてください。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れた後に柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊の原因となります。
- 電気工事完了後、お客様へ引き渡す前に通電し作動確認を必ず実施して問題のないことを確認してください。
- 施工後、ボルトやねじ類にゆるみやガタつき、また使用上危険な箇所や汚れなどが点検してください。
- 施工後、開閉や施錠が正常に行えることを確認してください。
- 作業終了後の商品にキズ、ヘコミなどが点検してください。
- 取り扱い説明書に基づき、商品の使い方や保守・点検方法およびメンテナンス方法を必ずお客様へ説明してください。

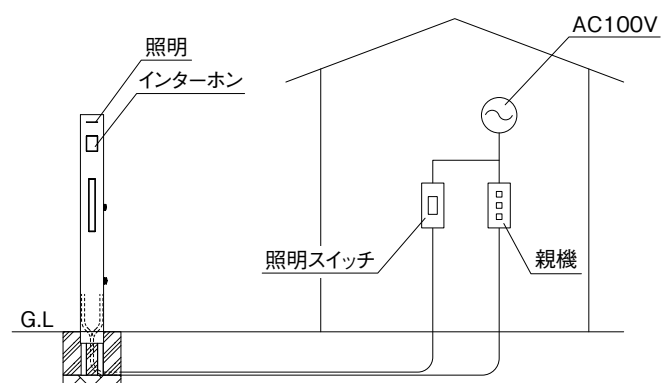
工事の分担

■ 取り付け施工店様

- ① ポールの設置 P.3
- ② ポスト取り出し口および宅配ボックスの扉の開き勝手の変更方法 P.4
- ③ ポスト投函口の開き勝手の変更方法 P.5
- ④ 表札(オプション)の取り付け P.5

■ 電気工事店様

- ⑤ インターホンの取り付けと配線 P.6
- ⑥ 照明の配線(照明ありタイプの場合) P.8
- ⑦ 明るさセンサーパネル(オプション)の取り付けと配線 P.9
- ⑧ ラベル、保護シールおよびパッキンの貼り付け P.10
- ⑨ 中敷板の取り付け P.10



※インターホン、照明に配線が必要となります。
(照明は照明ありタイプの場合のみ)

※図は照明ありタイプの場合

施工に必要な工具・資材類

■ 取り付け施工店様

- 基礎部仕上げ必要工具および資材など一式 (スコップ、セメント、砂、その他)
- 充電式ドライバー、電気ドライバーまたはプラスドライバー
- 巻き尺、水平器、下げ振り
- 電気ドリル、キリ(φ3.6)
その他必要に応じて工具・資材を用意してください。

■ 電気工事店様

- 配線管:パナフレキCD DM616K(パナソニック) 相当品
- 連結カップリング:DMS16C(パナソニック) 相当品
- 充電式ドライバー、電気ドライバーまたはプラスドライバー
- 照明用:VVFまたはVVR3芯
- インターホン用:インターホン指定の電線
- 電気ドリル、キリ(φ3.6、φ10)

インターホンについて

- インターホンは、市販品の露出型インターホン(1コ用スイッチボックス適合)を別途購入してください。

※形状によっては取り付けできないものがあります。

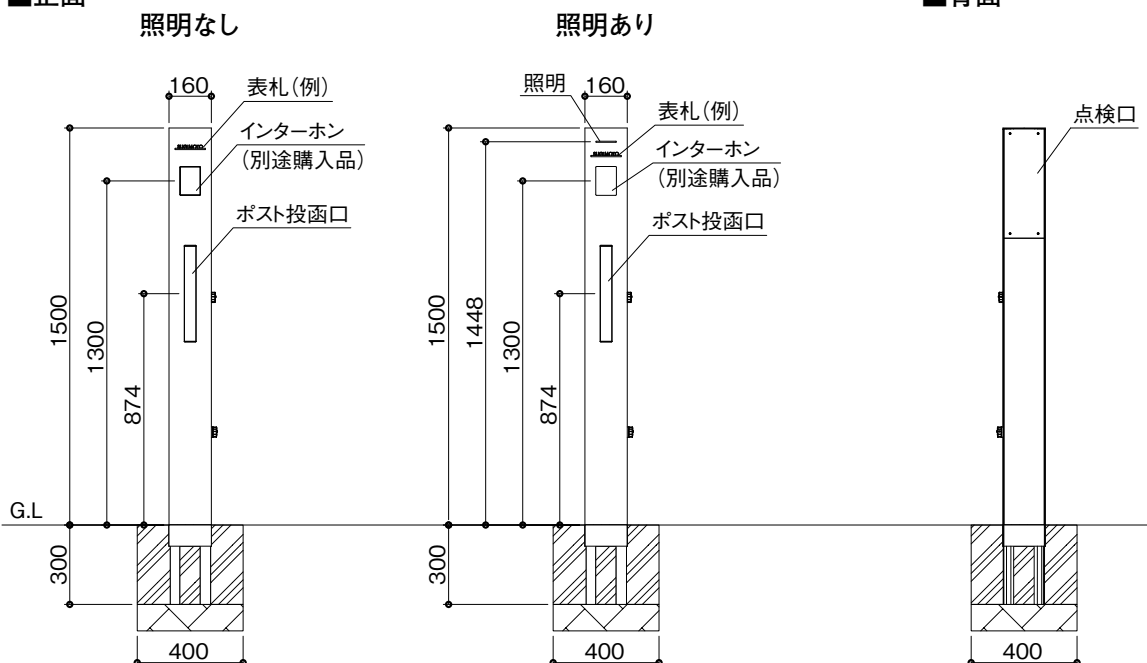
表札について

- アルファベットシールを直接貼り付けることができます。
- 表札シリーズから別途購入してください。

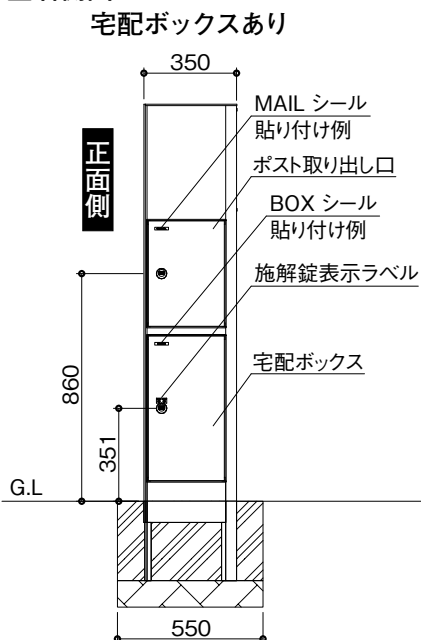
納まりおよび基礎寸法

(本図はインターホン加工あり、右勝手の場合)

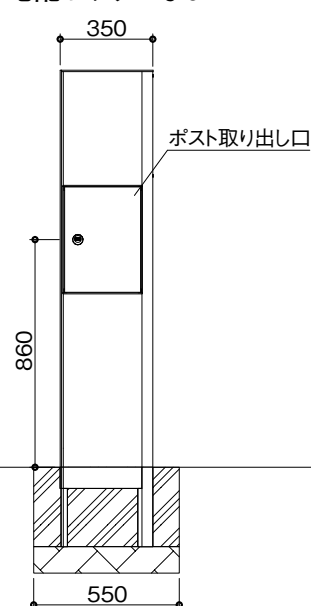
■ 正面



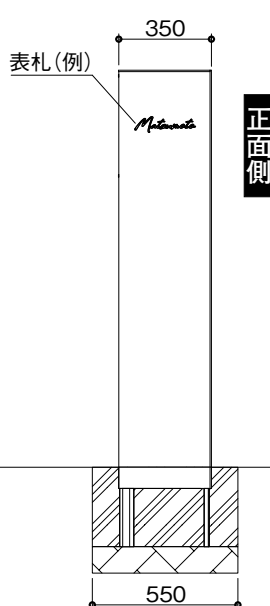
■ 右側面



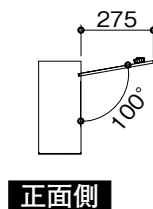
宅配ボックスなし



■ 左側面



■ 平面



梱包内容

□開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容も確認してください)。

□商品に破損や異常がないか確認してください。

□開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。

□万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店様または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

■機能ポール本体

品名	形状	数量			
		KPMB-15ER(L) KPMB-15SER(L)	KPMB-15R(L) KPMB-15SR(L)	KPMP-15ER(L) KPMP-15SER(L)	KPMP-15R(L) KPMP-15SR(L)
本体		1	1	1	1
中敷板 GAA656		2	2	1	1
インターホン台座 GC0010		1	—	1	—
小ねじトラス 4×8×8		2	—	2	—
小ねじトラス 4×15×8		4	—	4	—
小ねじトラス 4×20×8		4	—	4	—
パッキン GB5914		2	2	1	1
保護シール GAA634		4	4	1	1
MAIL シール GC1154		1	1	—	—
BOX シール GC1155		1	1	—	—
操作説明ラベル HYA010		1	1	—	—
施錠錠表示ラベル HYA011		1	1	—	—
施工要領書 HZA143		1	1	1	1
取り扱い説明書 HZA144		1	1	1	1

施工手順

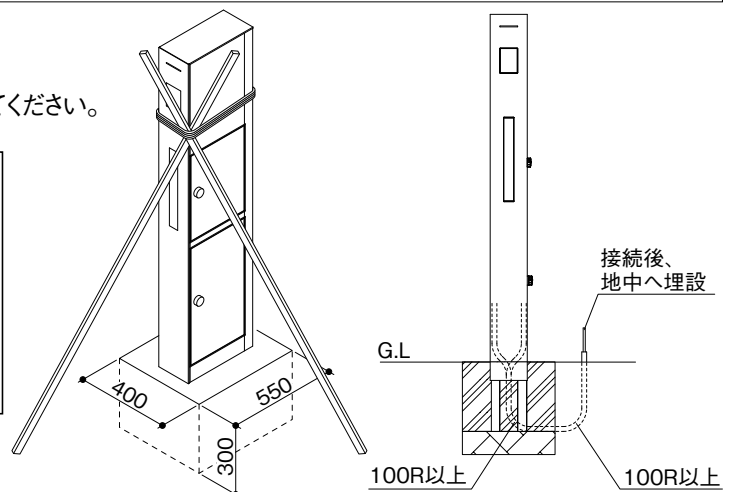
1 ポールの設置

①ポールを埋め込み穴に設置し、仮固定してください。

②ポールを支え棒などで自立させてください。

③納まり寸法、ポールの垂直・水平を確認し、コンクリートを打ってください。

- 注**
- 配線管の先端は室内側との接続までは仮に地表へ出してください(接続後、地中へ埋設します)。
 - 配線管の曲げは、その内側の曲げ半径が100R以上になるようにしてください。
 - 上記の指示どおりに施工を行わない場合、配線ができなくなることがあります。



2 ポスト取り出し口および宅配ボックスの扉の開き勝手の変更方法

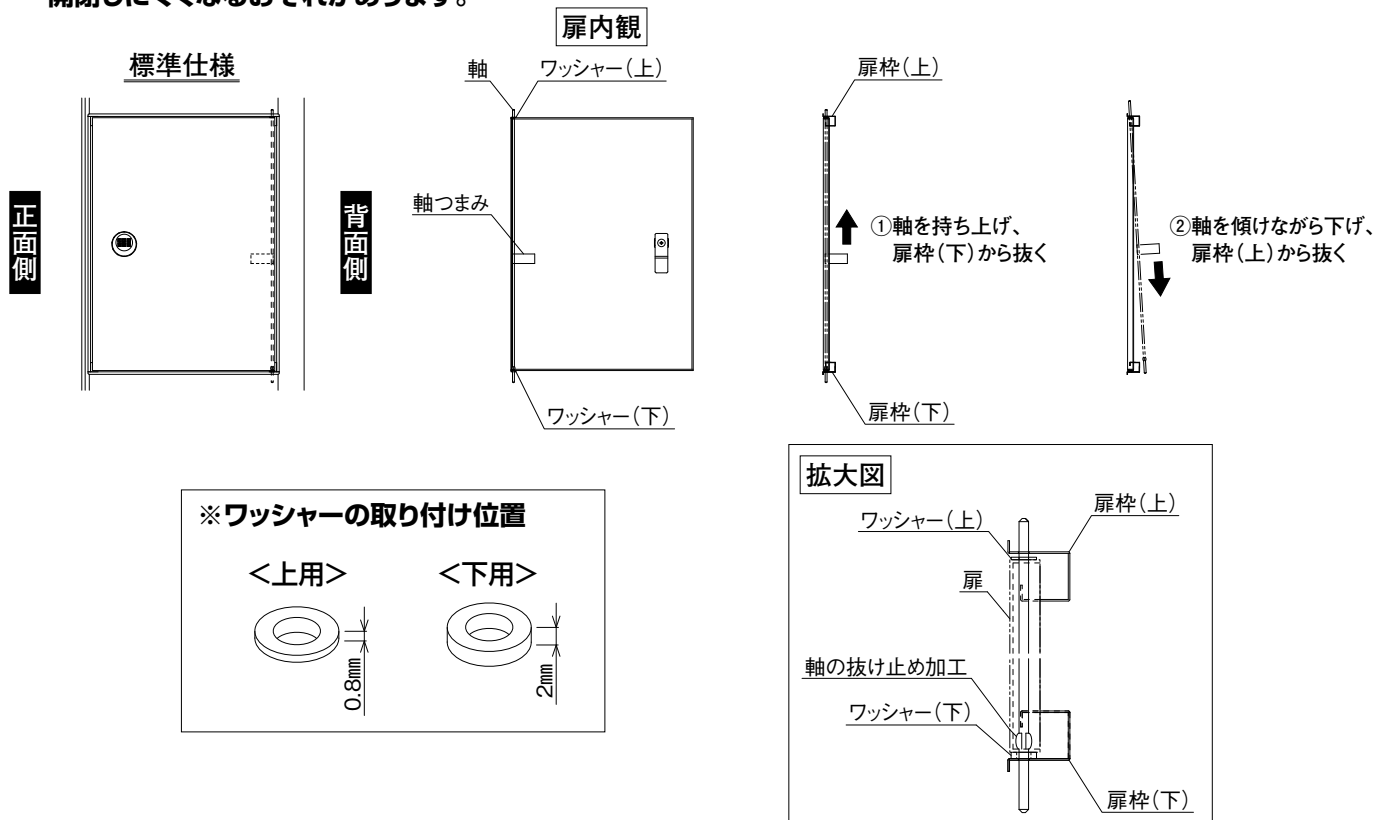
扉の開き勝手は「本体背面側が吊元」が標準仕様となっていますが、変更することができます。

※この作業は「**③ラベル、保護シールおよびパッキンの貼り付け**」の前に行ってください。

変更する場合は以下の手順で付け替えを行ってください(図は本体右勝手の場合)。

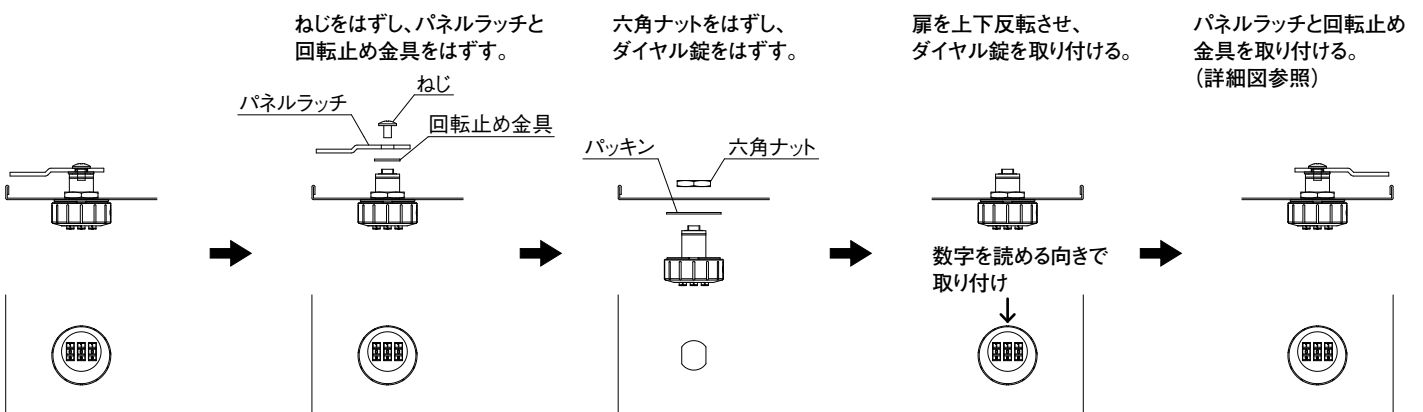
①扉をあけて軸を下図のように抜き取り、扉をはずしてください。

注 ワッシャーを紛失しないよう注意してください。ワッシャーがないまま使用を続けると、扉および扉枠にキズがつき、開閉しにくくなるおそれがあります。

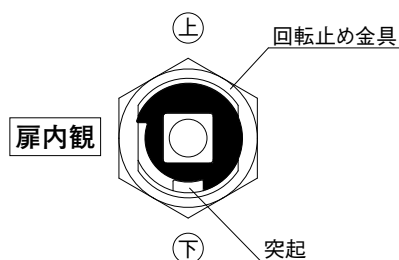


②ダイヤル錠およびパネルラッチを下図のように付け替えてください(図はポスト取り出し口扉の場合)。

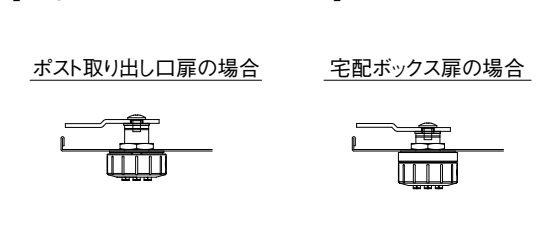
※宅配ボックス扉の場合はパネルラッチの表裏が異なりますので詳細図を参照してください。



【回転止め金具の取り付け向き】



【パネルラッチの取り付け向き】



③はずした際と逆の手順で扉を取り付けてください。

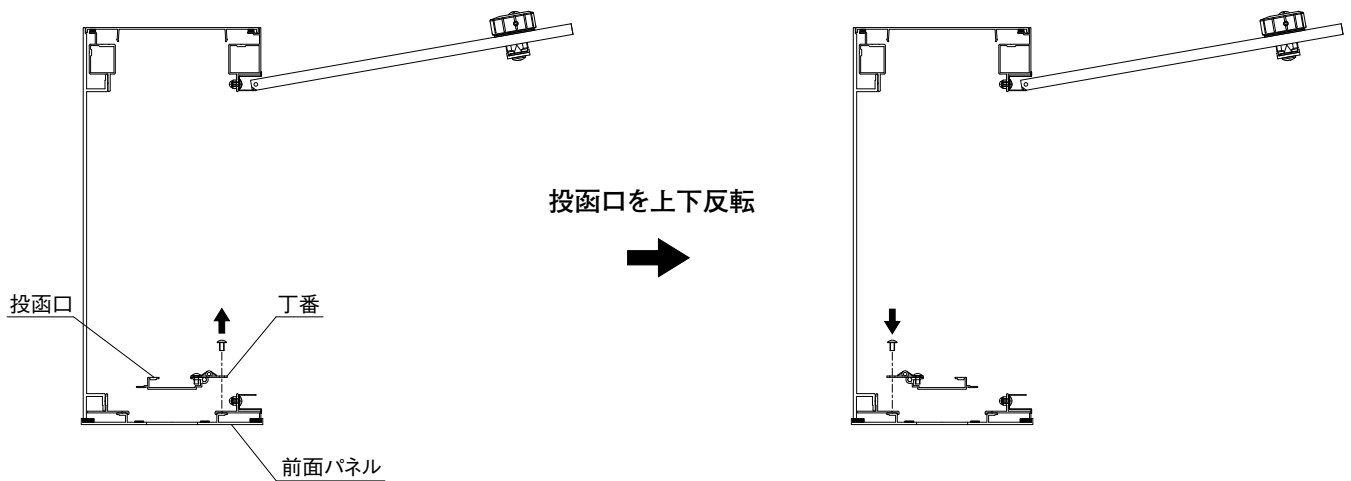
※取り付け後、軸が扉枠の穴に確実に納まっていることを確認してください。

※勝手変更後、扉が正常に開閉できることを確認してください。

3 ポスト投函口の開き勝手の変更方法

※はずした部品およびねじは再度使用しますので、丁寧に扱ってください。

- ①ポスト取り出し口をひらいて、ポスト内部より前面パネルに固定している丁番のねじを取りはずしてください。
- ②投函口を上下反転させた後、取り付けてください。



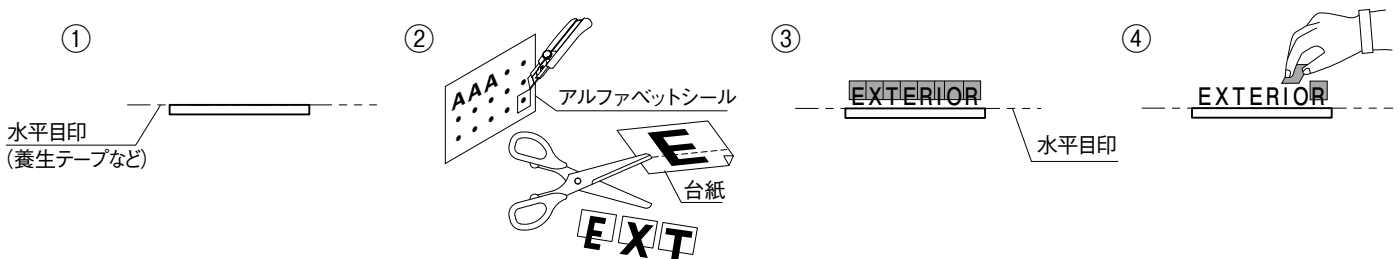
- ③投函口がスムーズに開閉するか確認してください。スムーズに開閉しない場合は投函口が傾くなど正常に取り付いていない可能性があります。丁番のねじをゆるめて投函口の位置を調整してください。調整後は必ずねじを締めてください。

4 表札(オプション)の取り付け

アルファベットシールを使用する場合

※表面の油や汚れなどをきれいに落としてください。

- ①アルファベットシールを貼る位置に、養生テープなどで水平目印をつけてください。
- ②アルファベットシールから必要な文字を台紙ごと切り取り、文字を切らないよう注意して、台紙のみをハサミで5分の1程度切り取ってください。
- ③水平目印と文字の位置を合わせて、仮り貼りして位置を整えてください。
- ④位置が決まったら台紙を剥がし、文字が剥がれないようにしっかり貼り付け、養生テープなどを剥がしてください。



表札を使用する場合

※表札に同梱されている施工要領書を参照の上、取り付けてください。

5 インターホンの取り付けと配線

インターホンの取り付けと配線は、お近くの電気工事店様に依頼してください。

※インターホン内蔵取り付けの場合は当社指定のインターホン機種を別途購入してください。

当社指定機種以外の場合、露出型インターホン(1コ用スイッチボックス適合)品は本体外側に露出して取り付け可能です。

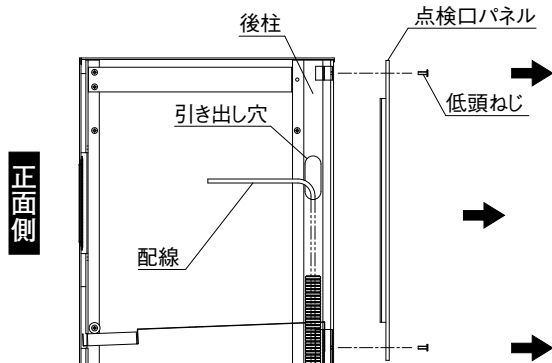
配線の引き込み

①本体点検口パネルを取りはずしてください。

※はずした部品およびねじは再度使用しますので、丁寧に扱ってください。

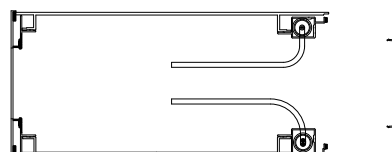
②インターホンの配線を配線管に通し、後柱の引き出し穴より本体内部に引き込んでください。

※照明ありの場合、配線管は照明用:1本、インターホン用:1本です。照明なしの場合、配線管はインターホン用:1本です。



※照明ありタイプの場合

インターホン用の配線と照明用の100V電源線は別々の配線管から引き出してください。



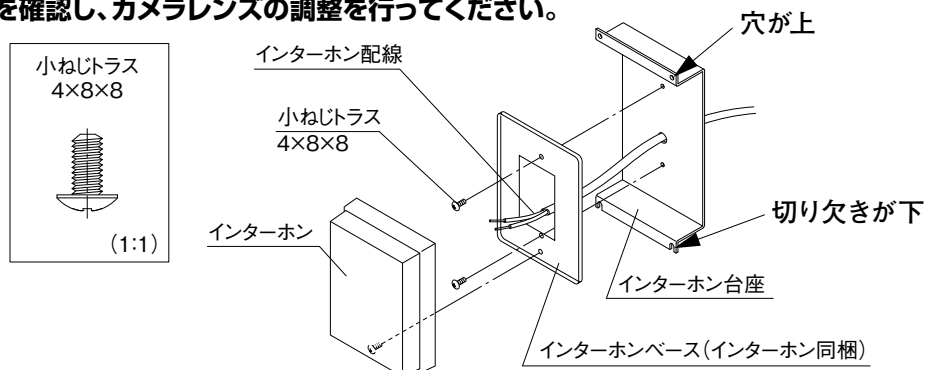
※配線管は柱の途中まで挿入してあります。引き出しにくい場合は針金などを使用してください。

インターホン内蔵取り付けの場合

①インターホンをインターホン台座に取り付けてください。

※インターホンの結線方法などの詳細についてはインターホンに同梱されている説明書をご覧ください。

※カメラレンズ角度調整レバー付きインターホンの場合、インターホンに同梱されている説明書を確認の上、カメラの映る範囲を確認し、カメラレンズの調整を行ってください。



②下側の固定ねじを仮止めし、インターホン台座をのせてから本体裏面にすき間なく当てた状態で、上下のねじを締めて固定してください。

※正面からインターホンと本体および本体貼り付けのクッション材を確認し、すき間のないよう調整しながら取り付けしてください。

※インターホンのボタンの位置など、切り欠きとズレがある場合はインターホンの取付位置を調整してください。

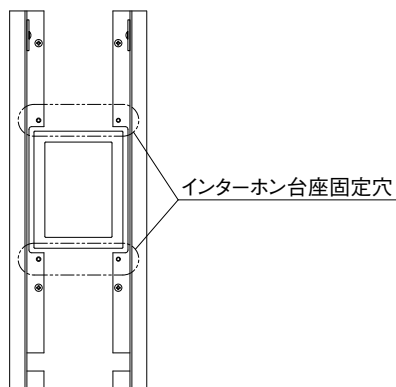
※インターホンの厚みに合わせてねじを使い分けてください。

(厚み26~29:小ねじトラス4×15×8 厚み29~32:小ねじトラス4×20×8)

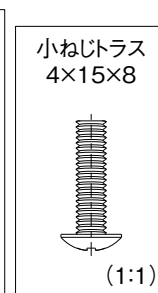
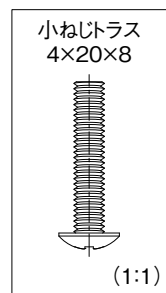
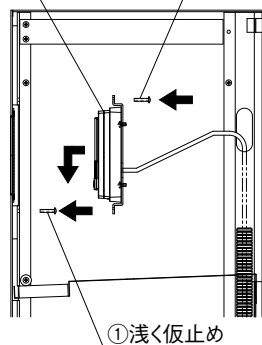
前面パネル内観

②仮止めたねじに台座をのせる

③上下のねじを締めて固定



正面側

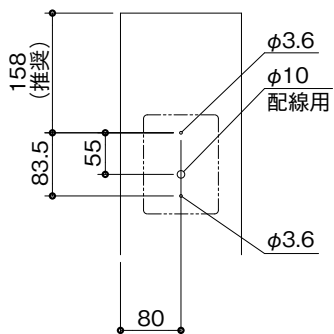


※締め付けの際、電動工具を使用しないでください。締めすぎると部品が変形するおそれがあります。

③はずした点検口パネルを取り付けてください。

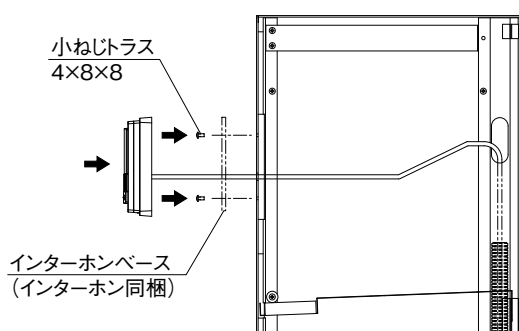
インターホン露出取り付けの場合

①下図のとおり、正面パネルにインターホン取り付け用の穴をあけてください。



※図中の高さ寸法は推奨位置です。照明ありの場合、光により映像が見えにくくなる場合があります。
問題がないことを確認の上、位置を決定してください。

②下図のとおり、インターホンを取り付けてください。



※カメラ角度調整機能付きインターホンの場合、インターホンに同梱されている説明書を確認の上、調整を行ってください。

※インターホンの結線方法など、詳細についてもインターホンに同梱されている説明書をご覧ください。

③はずした点検口パネルを取り付けてください。

6 照明の配線(照明ありタイプの場合)

照明の配線は、お近くの電気工事店様に依頼してください。

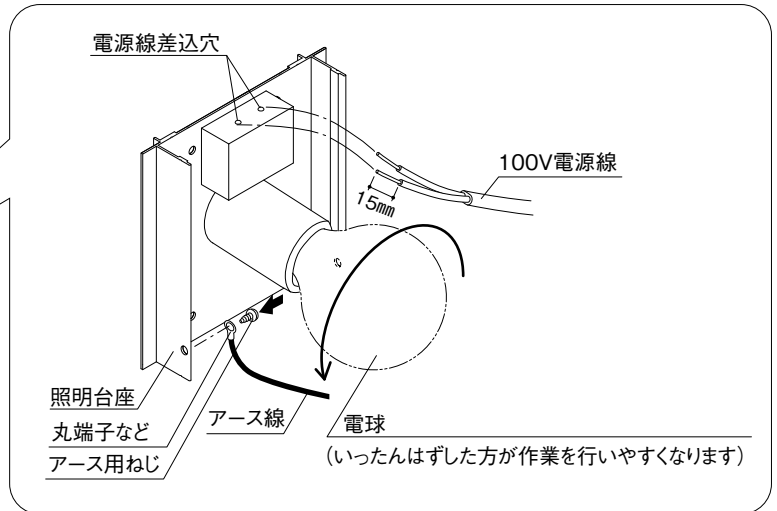
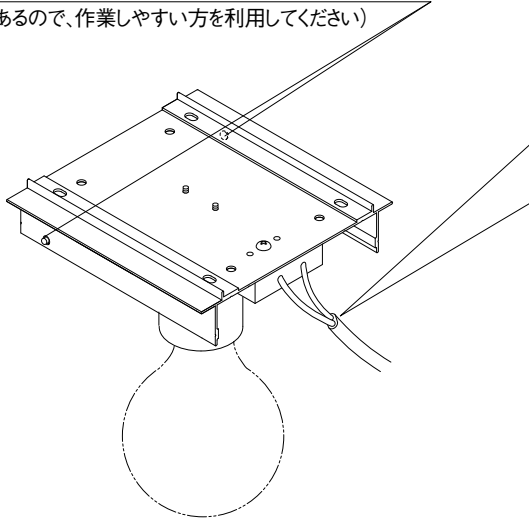
- ① **5**を参照し、本体点検口パネルを取りはずして100V電源線を通してください。
- ② 100V電源線を照明台座の端子台の電源線差込穴に、奥まで差し込んでください。

注 ● 照明台座のアース用ねじを用いて、照明の接地工事を行ってください。

- 取り付けの際は電線を損傷させないように注意してください。損傷させると、漏電や正常に動作しない原因となります。

アース用ねじ

(両側にあるので、作業しやすい方を利用してください)

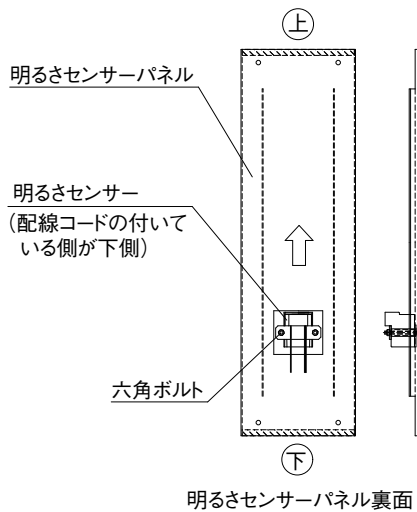


- ③ 本体点検口パネルを取り付けてください。

7 明るさセンサーパネル(オプション)の取り付けと配線

明るさセンサーパネルの取り付け前に。

※明るさセンサーパネルには上下があります。下図を参考に正しい向きで取り付けを行ってください。



明るさセンサーパネルの取り付けと配線は、お近くの電気工事店様に依頼してください。

※明るさセンサーパネルは、標準仕様の点検口パネルと交換して取り付けます(点検口パネルに明るさセンサーを装備させたもの)。

① 5を参照し、本体点検口パネルを取りはずして100V電源線を通してください。

②右の結線図を参考に結線してください。

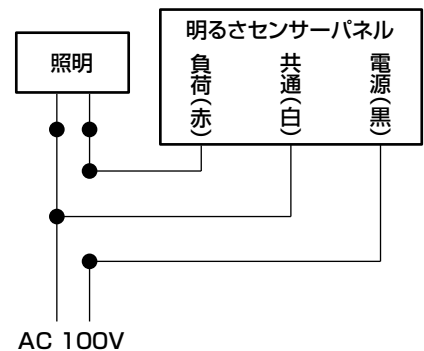
※照明への結線は6を参照してください。

※明るさセンサーパネルへの結線は、明るさセンサーパネル内側のセンサー機器の配線へ行ってください。

注 配線の接続部は、リングスリーブなどで確実に圧着した後、自己融着テープなどで防水・絶縁処理を行ってください。取り付けの際は、電線を損傷させないように注意してください。損傷させると、漏電や正常に動作しない原因となります。

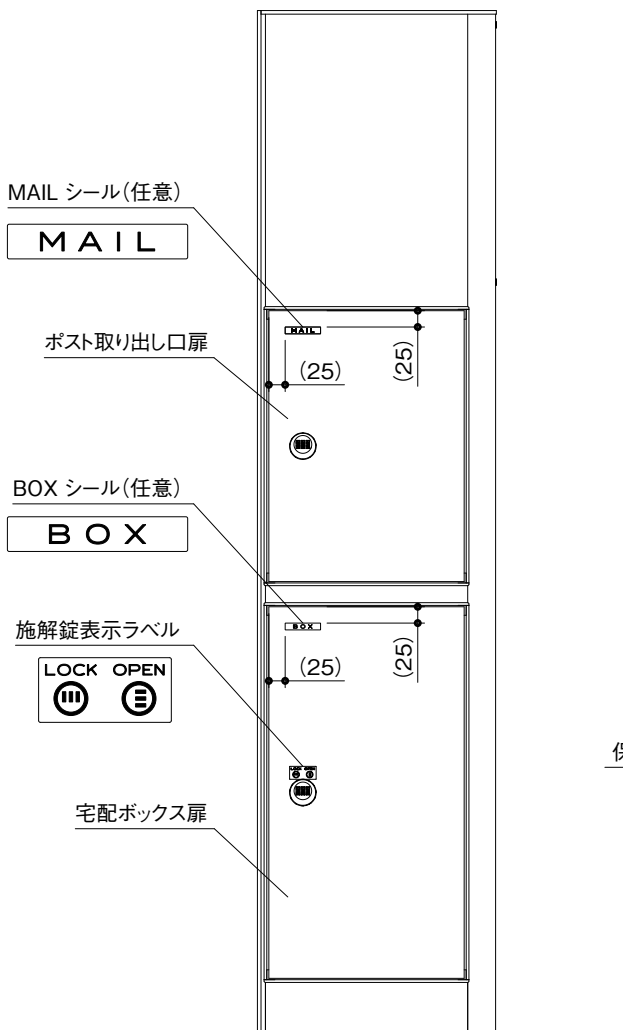
③明るさセンサーユニットを点検口パネルの取り付け同様に行ってください。

④作業後点滅動作の確認を行ってください。通电後ランプが点灯し、1~2分後に消灯すれば正常です。

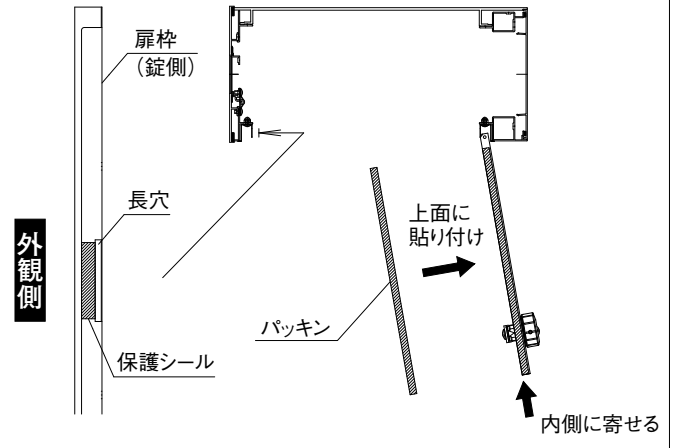


8 ラベル、保護シールおよびパッキンの貼り付け

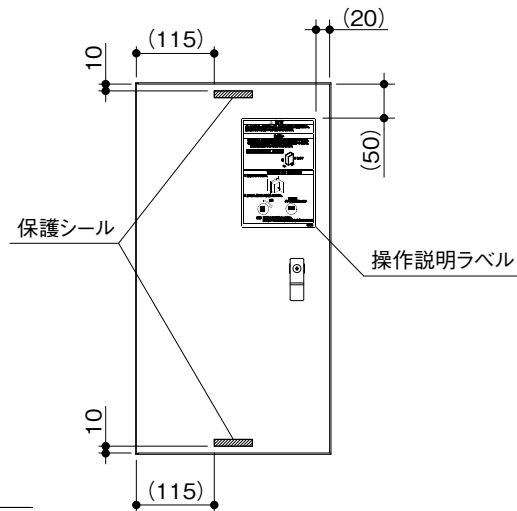
下図を参考に各種ラベルおよび保護シールを貼り付けてください。



下図のようにポスト取り出し口および宅配ボックスの扉の上面にパッキンを貼り付け、扉枠の長穴部に保護シールを貼り付けてください。



宅配ボックス扉 内観



9 中敷板の取り付け

ポストおよび宅配ボックスの庫内の底板に中敷板を設置してください。

